

問 3-6 あなたが現在お住まいの都道府県、ならびに市区町村をお教えてください。

左=度数、右=%	患者団体		モニター	
北海道	4	0.4%	58	7.9%
青森県	16	1.6%	8	1.1%
岩手県	26	2.7%	5	0.7%
宮城県	12	1.2%	9	1.2%
秋田県	16	1.6%	3	0.4%
山形県	8	0.8%	2	0.3%
福島県	13	1.3%	7	1.0%
茨城県	25	2.6%	11	1.5%
栃木県	35	3.6%	7	1.0%
群馬県	14	1.4%	7	1.0%
埼玉県	70	7.2%	32	4.4%
千葉県	87	8.9%	35	4.8%
東京都	178	18.3%	96	13.1%
神奈川県	98	10.1%	58	7.9%
新潟県	5	0.5%	7	1.0%
富山県	3	0.3%	4	0.5%
石川県	6	0.6%	10	1.4%
福井県	6	0.6%	4	0.5%
山梨県	6	0.6%	5	0.7%
長野県	41	4.2%	14	1.9%
岐阜県	18	1.8%	7	1.0%
静岡県	10	1.0%	11	1.5%
愛知県	16	1.6%	27	3.7%
三重県	8	0.8%	8	1.1%
滋賀県	5	0.5%	5	0.7%
京都府	8	0.8%	17	2.3%
大阪府	26	2.7%	79	10.8%
兵庫県	64	6.6%	51	7.0%
奈良県	23	2.4%	6	0.8%
和歌山県	3	0.3%	5	0.7%
鳥取県	1	0.1%	5	0.7%
島根県	1	0.1%	6	0.8%
岡山県	4	0.4%	13	1.8%
広島県	6	0.6%	16	2.2%
山口県	6	0.6%	4	0.5%
徳島県	6	0.6%	2	0.3%
香川県	3	0.3%	0	0.0%
愛媛県	5	0.5%	9	1.2%
高知県	5	0.5%	1	0.1%
福岡県	30	3.1%	34	4.6%
佐賀県	1	0.1%	7	1.0%
長崎県	7	0.7%	9	1.2%
熊本県	1	0.1%	11	1.5%
大分県	1	0.1%	2	0.3%
宮崎県	9	0.9%	5	0.7%
鹿児島県	3	0.3%	9	1.2%
沖縄県	2	0.2%	1	0.1%
不明	29	3.0%	0	0.0%
合計	973	100.0%	732	100.0%

## 問3-7 職業

左=度数、右=%	患者団体		モニター		合計	
会社員(営業)	16	1.6%	28	3.8%	44	2.6%
会社員(事務)	48	4.9%	94	12.8%	142	8.3%
会社員(販売)	3	0.3%	17	2.3%	20	1.2%
会社員(クリエイティブ)	5	0.5%	15	2.0%	20	1.2%
国家公務員	3	0.3%	8	1.1%	11	0.6%
地方公務員	9	0.9%	20	2.7%	29	1.7%
警察官・消防士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自衛官	0	0.0%	2	0.3%	2	0.1%
専門職(コンサルタント)	4	0.4%	2	0.3%	6	0.4%
専門職(法律会計)	3	0.3%	1	0.1%	4	0.2%
専門職(金融)	2	0.2%	0	0.0%	2	0.1%
専門職(不動産)	1	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
専門職(医師)	0	0.0%	4	0.5%	4	0.2%
専門職(薬剤師)	2	0.2%	4	0.5%	6	0.4%
専門職(看護師)	6	0.6%	5	0.7%	11	0.6%
専門職(その他医療)	4	0.4%	7	1.0%	11	0.6%
専門職(福祉)	9	0.9%	9	1.2%	18	1.1%
専門職(保育)	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
専門職(教師)	11	1.1%	17	2.3%	28	1.6%
専門職(動物飼育)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
技術職(IT関連)	7	0.7%	9	1.2%	16	0.9%
技術職(電気電子機械)	7	0.7%	19	2.6%	26	1.5%
技術職(建築土木)	15	1.5%	16	2.2%	31	1.8%
技術職(食品)	3	0.3%	3	0.4%	6	0.4%
技術職(化学)	1	0.1%	2	0.3%	3	0.2%
技術職(医薬)	2	0.2%	1	0.1%	3	0.2%
技能工(整備製造)	4	0.4%	9	1.2%	13	0.8%
技能工(土木電気)	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
運輸・配送	5	0.5%	18	2.5%	23	1.3%
警備・清掃	9	0.9%	4	0.5%	13	0.8%
農林水産	11	1.1%	3	0.4%	14	0.8%
団体・法人職員	11	1.1%	20	2.7%	31	1.8%
経営(個人)	30	3.1%	51	7.0%	81	4.8%
経営(30人以下)	22	2.3%	22	3.0%	44	2.6%
経営(31-100人)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
経営(101人以上)	3	0.3%	1	0.1%	4	0.2%
専業主婦	115	11.8%	99	13.5%	214	12.6%
家事手伝い	4	0.4%	3	0.4%	7	0.4%
学生	0	0.0%	4	0.5%	4	0.2%
無職	515	52.9%	138	18.9%	653	38.3%
上記以外の職種	52	5.3%	62	8.5%	114	6.7%
答えたくない	7	0.7%	13	1.8%	20	1.2%
不明	23	2.4%	0	0.0%	23	1.3%
合計	973	100.0%	732	100.0%	1705	100.0%

問3-8 あなたの「役職・雇用形態」をお教えてください。(○はひとつだけ)

左=度数、右=%	患者団体		モニター	
経営者(単独)	62	6.4%	72	9.8%
経営者(共同)	15	1.5%	12	1.6%
管理職(常勤)	35	3.6%	98	13.4%
管理職(非常勤)	8	0.8%	3	0.4%
正規雇用(期限無)	57	5.9%	153	20.9%
正規雇用(期限有)	26	2.7%	25	3.4%
契約社員・職員	26	2.7%	38	5.2%
歩合制	4	0.4%	2	0.3%
パートタイム	47	4.8%	53	7.2%
アルバイト	11	1.1%	14	1.9%
日雇い	2	0.2%	0	0.0%
無職	478	49.1%	227	31.0%
上記以外の形態	20	2.1%	21	2.9%
答えたくない	8	0.8%	14	1.9%
不明	174	17.9%	0	0.0%
合計	973	100.0%	732	100.0%

問3-9-1 あなたは「肝炎に罹患された時期」をご存知ですか。(○はひとつだけ)

\*「患者団体 計」は肝炎の型が不明の回答を含む

上段=度数 下段=%		知っている (わかっている)	知らない (わからない)	不明	合計
患者団体	B型	51 29.1	116 66.3	8 4.6	175 100
	C型	321 44.3	341 47	63 8.7	725 100
	BC両方	8 66.7	4 33.3	0 0	12 100
患者団体 計		395 40.6	496 51	82 8.4	973 100
モニター	B型	151 43.5	196 56.5	0 0	347 100
	C型	151 41.7	211 58.3	0 0	362 100
	BC両方	10 43.5	13 56.5	0 0	23 100
モニター 計		312 42.6	420 57.4	0 0	732 100

## 【資料2】

## 患者アンケート調査－自由回答

問1-8-1 あなたは、あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として、直接的あるいは間接的に、「侮辱的、侮蔑的な発言を受けた」ことがありますか。

問1-8-2 それは具体的に「1. どのような場面」で、「2. 誰の」、「3. どのような発言」でしたでしょうか。最も記憶に残っている出来事を以下に記入して下さい。

## ① 就職関係についての回答例

1. 入社時の健康診断で、産業医に、肝炎キャリアーを採用するくらいなら、身障者を採用したほうがよいと言われた。
2. 就職内定の状況で、人事の担当から、内定を取り消したいと言われた。
3. 就職時、産業医から、採用の保留を企業に持ちかけられた。
4. 就職時の面接で、事務長から、肝炎の人は雇いませんと言われた。
5. 就職面接時、施設責任者から、貴女がC型肝炎である事を職員全員に公表する、その上で考えさせてもらおうと言われた。

## ② 職場関係についての回答例

1. 1回目のインターフェロンでの治療終了後、完治できなかったと会社には言わなかったが、仕事に復帰した時、部長に、やめたほうがいいんじゃない？と言われた。
2. 職場で、会社から。治療をし、根治しなかったら、結局会社から解雇された。
3. 会社の昇任試験で、上長に、いつ使えなくなるか分からないと言われた。
4. 営業の復帰の際、上司に、健康の不安がなくなってから考えようと言われた。
5. 先輩が多い状態で、先輩のひとりから、C型肝炎にかかっていることを公表しろと迫られた。
6. 職場で、同僚に、うつる病気の人と一緒に仕事したくないと言われた。
7. 食事会の時、同僚に、コップや食器類をそのまま使うと感染すると言われた。
8. キャリアーと診断された後、職場で、同僚が、性行為でうつったと、さげすむような発言。
9. 会社の飲み会で、同僚から、鍋料理をつつくとうつると言われた。
10. 上昇時の査定、昇格異動の本部打診で、支店長に、君は肝炎で強ミノを打ったり病院通院があるので、あきらめてくれと言われた。
11. 会社で、副社長に、医師の診断書があるにも拘らず、会社に来ると周りに伝染するというようなことを言われ、会社に行くことを拒否された。
12. 3ヶ月入院した事により、重役に、強く退職を求められた。
13. 会社の面談で降格・減給させられた。会社の社長から飲み会で、子供をつくらないのは非国民と言われた。
14. 異動の発令で、上司に、おまえの体の事を考えて異動させると言われた。
15. 職場の検診でひっかかり、2回目病院に行く時遅れますと言った時に、店長に、何型かだけ教えてと言われ、汚い物を拭く様に、私のいたレジの所を拭き始めた。私は、もうここには迷惑だと感じ、自分が汚い様な物に思えて、もう辞めまうと言って泣きながら飛び出し、その日を境にその職場を辞めた。
16. 会社の健康診断で、勝手にウイルス検査をされた。それを、患者の氏名は言わなかったが、社内の安全委員会で発表され、C型肝炎は治らないと、総務部長から直接言われた。
17. 酒の席で酒以外のものを飲んでいたら、人事権のある上司から、持病があって酒が飲めない理由をしつこく聞かれ、肝炎であることを言ったところ、「どこかへんな所でもらってきたのか」と言われた。
18. C型肝炎と分かり入院治療を会社をお願いした時、会社の上司や同僚に、いかがわしい所へ行き性感染症でうつされたと言われ、社内にそのうわさが広まった。
19. 職場で上司が、治療開始時、入院する為の届出を提出した時、「このまま勤めさせて大丈夫なのか」、「食品を扱っているので他人にうつるのでは？」と言っているのが、間接的に聞こえて来た。
20. 前職場でB型肝炎になった人に対して、社長達や同僚達が、感染しているからみんな検査しなさいとの指示。C型肝炎に感染しているのは隠していたが、発見されたら解雇されると思った。
21. インターフェロン治療中に仕事を休んでいる時など、仕事の関係者や知人から、仕事を休んで遊んでいて、めしが食べれば良いなあ～などと言われた。
22. 退院した時、会社へ挨拶に行ったとき、会社の同僚から、どこで感染したかと、へらへら笑った表情で、皆が聞こえるくらい大きな声で言われた。

23. 私が席を立てて帰ってきた時、私がいけないものと思って、同僚6人が、〇〇さんのものにさわったらC型肝炎ウイルスがうつると言っていた。
24. 治療のための通院や入院のため休んだり、体調がすぐれないこともあったが、出来る限り仕事は人並にこなしていたのだが、肝炎は表面的には判りにくいため、「病気を理由にさぼっている!!」と、同じ職場の同僚にののしられた。同じ食器は使わないようにする、病気がうつると言う人もいた。
25. 職場で、同僚から、うつる、湯のみは別に洗わないとねと言われた。
26. 入院中、会社の同僚からは「変な遊びでもしたんじゃないの?」と、他の入院患者の家族からは「隔離してもらわなきゃ」と言われた。
27. 健康診断の際、同じ社内のあまり知らない人から、「健康診断を受けても今さら治らないよ」と言われた。
28. 寮の食事の時、入浴時に、寮母さん、事務課長に、食器の指定と食後の返却場所を指示された。入浴も、できれば最後にする様に話があった。

(他に同旨・同様回答 20件)

### ③ 医療関係(歯科関係を除く)についての回答例

1. かかりつけ医院で、医者から、大きな声で、肝炎患者だから注射針に気をつけてと言われた。
2. 肝炎のキャリアーの説明を受けるときに、医師から、気をつけないと人殺しになると言われた。
3. 抗体が出来て第一子を出産してから、個人医院で受診した際、開業医に、「あんたのような人間がいるから、俺の友人の医者が感染して死んだ、あんたのような人は生きていて迷惑」と言われた。
4. 内科で、医師から、B型肝炎はみだらな性行為でうつるものと言われた。
5. 気管支内視鏡検査の時に、検査技師(?)か医師から、1番の予約だったのにC型だからと最後に回された(大きい声で廊下で言われた)。
6. 鼻血がなかなか止まらず耳鼻科に行った時、2度、それぞれ違う医院で、医師が、「C型肝炎か、後始末が大変なんだ」、看護師さんに「消毒して、その辺をふけ」と大声で、他の人のいる前でどなった。
7. ●●病院消化器内科外来診療中、(1994~2005. 2006の夏外来診療. 検査投薬で)主治医(●●医師)及び(当時主任)医長(●●医師)が、何事も外来で主治医の治療を受けていたのに病気が急変したので説明を受けに行ったところ、医長(●●)は、主治医(●●)は病院内にいるのに不在、どうせC型肝炎は癌になるのだから我々は診るのがいやでも診てやっているんだ…!と薄笑いして、僕は予定があるからと、何の説明も無かった。
8. 内科医に診察を受けに行った時、医師から、うちではあなたを診察する事はできませんと言われた。
9. 肝炎認定の記録隠匿で(胆石手術者台帳の特記)、ア. 医師 イ. 警察 ウ. 弁護士から、ア. 見せた後に無い イ. 病院の都合で出さなくてよい ウ. 年金で充分でしょう、面倒なことはやらないほうがよいと言われた。
10. ●●病院婦人科で子宮がんの検診を受診した後、終了した時、看護師さんが処置(ふいてくれる)の時、医師が看護師さんに、あわてて、「C- (シー) !、C- (シー) !、C- (シー) !」と、大きな声で言った。前もって看護師さんも「確認済」にしておいてくれたら(カルテに目を通しておいてくれたら)、大きな声で先生に言われなくても済み、私も「やっぱり! …、私は肝炎患者なんだ…」と改めて悔しい思いをしなくて済んだのに…と初めは思いました。「シー!シー!シー!」とあわてて(大きな声で)言われたわけも理解できますが、その声や光景が忘れられません。
11. 内科の担当医から、大きな声で「あなたはC型肝炎です。キャリアーではない」(待合室の人達が聞こえるような声)と言われた。
12. 胃カメラ検査の時に、医師から直接貴女の場合はC型だから最後にと言われた。
13. (●●病院)で受診時、医師(担当)が、不必要な大声でナースに「B肝」と伝えた。当然、中待合室の人には聞こえたと。24年位前のこと。
14. 歯、耳、鼻の治療で他の患者さんがいる前で、担当医から、感染がありえるので他の患者さんの器具と別にしろ、と言われた。
15. 予約時間に5分程おくれて!4人程の患者さんの後まわしとなった。先生の言葉がドア越しに聞えて、「時間に来れない者は後まわし…」と言っていた。
16. 病院の診察室で、医師から、「C型キャリアーとすぐに言わなかったって。すぐに言って下さいよ～。私はいいいけど他の患者さんに迷惑でしょ!」と言われた。
17. 新患で内科の診察をうけていた時、医師から、診察室内で大声で「B肝ですか」と言われた。そこには看護婦も含めて4人位聞いていた(それは、あたかも皆に聞こえるように、知らしめることと思った)。
18. 娘を出産した時、医師から、母乳を飲ませてはいけない、二人目は産まないように、と言われた。

19. 初めての病院で、診察をして下さった医師の、「余命は2年くらいだよ」という言葉。
20. 発症時医師から、「一番医者が嫌う患者、25年でガン」と、病名と共に言われた（※●●県●●市個人病院で）。あまりのショックで、後日謝罪させたが…。
21. 肝炎と診断された時、医者に、エイズと同じで性行為でうつると言われた。
22. 医院の待合室で、院長から、イレズミ、麻薬をした人に多い（C型肝炎は）と言われた。
23. 診察中、医師から、いれずみ及び薬物について聞かれた。
24. 診察のとき主治医から、肝炎でその病院にかかっているのに、何回も、貴女はC型肝炎をもっているから…と言われた。
25. 診療室で、肝臓専門医から、1982前後の血液製剤は「こきたない」×2言も言われた。
26. 病院で、看護師から、汚い、さわりたくない、肝炎だから後回しでいいと言われた。
27. 産婦人科で、看護師に、我々は他の新生児を守る義務があるので、同じ部屋での授乳はしていただけないと言われた。
28. 入院中看護師から、感染注意、他の患者に迷惑と言われた。
29. 入院中、看護師に、大部屋から個室へ移動させられた。
30. 医療現場で患者に対応するときに、上司（主任看護師）に、器具類を他の看護師のものと一緒にしないようにと、徹底して分けられた。
31. 二十数年前、出産時の病院で、看護師から、他の患者とは違うトイレを使用させられたり、シャワーを制限されたりした。
32. 職場で、ナース同士なのに、針刺し感染を馬鹿にされた。
33. 胃カメラ検査をうけたあと、医療従事者から、自宅に、おそろしいくらいの口調で器具を全部消毒した、という電話があった。検査前後の血液検査の結果をみてかけてきた。
34. 病院の胃の内視鏡検査の時で、その病院の看護師（女性）でブスコパンの注射をする時、内視鏡を消毒するのが大変だから、他の検査する人に感染するといけなから一番最後にして下さいと、予約時間を無視された。私の場合、感染力はないと聞いているのに。
35. 出産した病院で、看護師から、入浴が一番最後に、トイレは決まった場所のトイレを使い、使用后消毒する様にと言われた。
36. ●●HP 婦人科で、看護師から、「この人Cだから注意して!!きっちりしなくていいから」と言われた。
37. 手術の時、ナースから、「C型です」と大きな声で、意識があるのに言われた。
38. 胃の検査カメラを使う時、看護師に、「最後にして下さい」と言われた。現在はないです。
39. 私の姪が病院に入院していて、その時、付き添いをしていた時に。そこの病院の看護婦（現在の看護師）に、あんた、C型肝炎のくせに、患者さんにうつるよ!!と、私はこの病院で手術をうけてC型肝炎になったのに、言われた。
40. 婦人科の検診で、看護師から、この器具は消毒しても、もう使えないので捨てないといけなと言われた。
41. 耳鼻咽喉科に入院した時、看護師と主治医から、貴女は特別に消毒など時間もかかるし、自分もこわいし、二度目の手術は別の先生にお願いするからと言われた。看護師さんは、他人にうつる病気だから体温計は別にすると、病室の中で皆さんがいる時に6名の部屋で言われた。
42. 入院してノドのポリープの手術を受けた時、病院及び看護の方々から、着る物、食事の食器など侮辱を受けた。また、同じ病室内の方々と、同等な待遇が受けられなかった。
43. 医療機関で、医師、看護師から、抗ウイルス薬の副作用を訴えたら、「気のせいだろう」と心療内科を受診するよう言われた。治らない病気だから肝硬変になって死ぬ、今後高額な医療費がかかると言われた。転院した医師からも、どこの病院にかかっても同じことだと言われた。合わない薬の服用中止を希望したら、医師の指示に従えないのなら病院に来る必要はないと言われた。
44. 入院中の整形外科医院で、医師、看護師、事務員、理学療法士、入院患者、他スタッフから、B型肝炎は不治の病いである。男遊びによって感染した。他者へ肝炎がうつるので、他人と会ってはいけない等、多数言われた。
45. 通常の会話の中で、保健師（当時は保健婦）から、B型劇症肝炎にて死亡というニュースから、感染力が強いので一緒に仕事をするのは危険なので、迷惑かけないために自分がどうすべきか立場を考えて、家庭でできるような仕事に転職すべきと示唆があった。
46. 市の健康相談をする場所で、患者自身（自分も含めて）各人が1人で悩むのではなく、患者同士が話し合える場所をつくりたいので協力してほしいとお願いしたら、市の保健担当者から、「そんな事したら病気のことが掛けになって、あなたの家族にまで迷惑かける様になるので、それより自分のことだけ考えていればいいじゃないか」と言われた。
47. 長女の出産で入院した時、説明もなく、希望もしていない個室に入れられた。きちんと、婦長から、説明をしてくれるとか、あればよいと思った。給食のおばさんに、「あなたの食器は別にして、これに入れてくれ」と言われた。キャリアーだとわかってから、いつも行っていた内科に行って、キャリアーだとつげたら、医者に、私は肝臓が専門ではないから、風

邪のときも、次回からは、専門医へ行ってほしいと言われた（かなりショックだった）。

48. 第2子出産のため入院した●●大学病院で、清掃担当の年配の女性から、同室の何人もの入院者の前で、「洋式便所を使用せず汚物は～（←忘れた）するように」と言われた。皆、キョトンとしていたがショックだった。
  49. 入院中に、他の患者の見舞客から、うつらないように陰口を言われた。空気感染するよとも言われた。
  50. 入院中となり入院者に、同室者から、C型はうつるんだと言われた。
  51. 医大に献体を申込時に、私のことで、C型肝炎はおことわりと言われた。
  52. しん灸師による治療で、私のことを、普通の会話の中でC肝キャリアを話した途端、ものすごく態度が変わり拒否された。
  53. 整体室で、整体師から、以前、C型肝炎の方が整体に来た時に、終了後消毒したという話をされた。
- （他に同旨・同様回答 12件）

#### ④ 歯科関係についての回答例

1. 歯科診察で、院長に、肝炎患者は受け入れられないと断られた。
2. 歯科医院で、その時の担当医が、治療を嫌がったり、抜歯は怖いから大学病院に行ってほしいと言ったりした。
3. 歯科医に治療を断られた（友人が感染を気にして離れてしまった。言葉はなく）。
4. 近所の歯科医院で、問診票に「B型肝炎」と正直に記入して治療を開始したが、二回目の治療中、口を開け反論できない状態の時に、医師から「わかっているよね、もうこないでほしい」と言われた。
5. 30年前に虫歯の治療を受けに行った時、歯科医の先生に、肝炎の方の治療はお断りします。自分の友人も、肝炎患者の治療をして感染したと言われた。
6. 近所の歯科医院で、歯科医師から、ここでは治療出来ないで東京の大病院を紹介すると言われた。
7. 歯周炎で、大学病院の歯科医師から、B型肝炎だから通常の治療はできない、全部抜くしかないと言われた。
8. 歯周病の治療の爲、受診手続きをしたときに、国立大学附属病院歯科 Dr から、この病院は重症患者の病気を研究する所だ。私は東京出身だが、地方ではすぐにこの病院へ集まってくる。君のように感染する患者は、他の患者に迷惑。この紹介状を自宅近くの歯科医に出してそこで治療を受けよ、と言って追い出された。勝手に書いた紹介状の料金も、勿論受診料も請求された。
9. 歯医者に治療に行った際に、多勢の人々が聞こえる場所で、先生が大きな声で、貴女のようなC型肝炎の人は抜歯することは出来ないで、かかりつけの先生の診断書をもらって来い、その後でないと治療は出来ない、などと色々言われた。
10. 歯科医院で、親しらずに抜歯する予定で写真を撮ったが、夜、電話で息子（歯科医）と相談した結果、息子から大学病院へ行くようすすめられた。大学病院では、「別に何ともないじゃない」と快よく抜いてくださった。かかりつけの歯科医師は、「もう、うちには来なくていいから」と言い、しかも、抜いても治療もしないのに、大学病院の手紙を届けただけで、大学病院より高い診療費を請求され、支払った。
11. 歯科医院で、医師が看護師に、「この人はC型だから別にするように」と聞こえる声で言った。
12. 歯の治療で、Dr から、別の病院で治療してくれと言われた。
13. 歯の治療中に、肝炎を発病して入院したため、退院後、再び歯の治療に行った時、長年みてもらっていた歯医者に「完全に治ってから来なさい」と言われ、治療してもらえなかった。医療スタッフの人達にも無言でジューっと見られ、非常にイヤな思いをした。
14. 歯科治療で、歯科医から、「もう来るな!!」と言われた。
15. 2011年に歯科医院で検診の際、問診票にC型肝炎に該当したのでその通り申出たら、歯科医師が、ウイルス感染のためだと思いますが、何の説明もなく予防の布をかけた状態だったので、治療の前に説明してくれればと言ったら、そんな事を言われたのは初めてだ（クレームと言われた）と大きな声で言われました。
16. 歯科医院で、医師から、治療してあげてもいいが前例がないと言われた。
17. 歯肉炎の治療に際して、歯科医から、あなたのせいでスタッフが危険にさらされると言われた。
18. 歯科医院での診察時に、C型肝炎である事を話した時、歯科医師から、今までお世話になっていたのに「いつからや?」、「困るな」などと言われ、歯科治療の備品を全部使い捨てのものにかえられた。
19. 歯医者で、受付の人が次の予約を取る時に、肝炎だから午前の最後にしてください、みたいなことを言われた。
20. 受付・歯科助手が、陰で歯科医師に小声で、「この人感染しているから」等の耳打ちをしているのが聞こえた。
21. 歯科で、医師、看護師から、エプロンなど使い捨てのものにするよう、拒否に近いような対応をとられた。
22. 歯の治療で、医者・看護師から、●●病院へ行きなさい（●●歯科）、手当はできません、と言われた。
23. 歯科病院で、歯の治療の時、看護師同士で、あの患者はB型肝炎だから器具を使った後始末に気をつけなさい、という話が聞こえた。

24. 歯科医で、看護婦から、感染する病気と言われた。
25. 歯科医で、受付の方に、対処出来ないのと言われた。
26. 歯科治療時、受付の人に、診療時間の最後に来てください、と言われた。
27. 歯の治療を受けに行って、自分のことを、C型の人の治療はしていないと言われた。
28. 歯科医院で、肝炎患者は治療しないと言われた。

(他に同旨・同様回答 1件)

#### ⑤ 保険加入関係についての回答例

1. 民間保険加入申込にあたって、パンフレットに、C型肝炎既往者は加入できない(完治と認めない)とあった。
2. 生命保険加入の話が途中まで進んでいて、電話での話の途中で肝炎の話が出たら、すぐ何うからと、やって来た生命保険会社の担当職員から、「肝炎のある人は生命保険の対象にならないんですよ」と言われ、話が打ち切りになって、定期的な訪問もぱったりと終わりになった。

#### ⑥ 家族・親族関係についての回答例

1. 高校生の時に自宅で献血結果を親に見られて、「その歳でセックスをしたのか!」と叱責された(処女だった)。
2. 自宅で主人から、自分が使った食器を使いたくないと言われた。
3. 家族間でも不安がっており、子供から、私たちの血も汚れているの〜子供(孫)にもうつるの〜子供産んだら可愛そう〜と言われた。
4. 寝る前に、嫁から、ゆっくり生きようと言われた。
5. 夫婦げんかで、夫に、汚れた体とか言われた。
6. 裁判の過程で、身内に、わかっていたら結婚していなかったかもしれないと言われた。
7. 結婚している時に、夫から、きたない、土方の血が入っているとされた。
8. 食事の時に、夫から、きたないと言われた。
9. 家の中で、家族が全員で、自分達に肝炎が感染していないかと気にしている。
10. 怪我をして出血した時に、家族から、うつる事がある様なので、出血の始末を自分でする様にとされた。
11. 自分で孫に気を付けました。食事の時に、自分の皿から自分のはしを使う事はしませんでした。必ず孫の分を別に、ご飯も魚などみんな別によそって、その子のはしで食べさせました。
12. 日常生活で、兄夫婦から、関わりたくないと言われた。
13. 妻に感染させてしまったため、妻の親に、のうのうと生きているのかと言われた。
14. 肝炎を発症した時に、夫の両親から、隠して結婚したとか、まるで汚いウイルスを持っているようなことを言われた。
15. 結婚直後に判明して、嫁からひどいことを言われた。
16. 夫が肝炎になったと勘違いして、義父母から、変な血をいれたと言われた。
17. 身内の集まりで、身内から、お酒の飲みすぎだからなったような発言をされた。
18. 自宅で、家内の妹に、お義兄さんがC型肝炎だから、食器を早く洗うようにと言われた。
19. 家庭内で、嫁の<親から?>、母子感染の息子と結婚なんかさせやがってお前が悪いんだという言葉。その時は息子がC型肝炎だとの認識がなくて、結婚を機に献血に行って知らされたものです。
20. 出産の時に、姑から、母親の乳を飲ませられんのはオニの子じゃ、と言われた。
21. 子供の結婚の際に、私のことを、肝炎がうつるとされた。
22. 訪問先(姉夫婦宅)での談笑中に、夫の姉の連れ合いから、昔(S48年輸血)はホームレスの売血があったという話をされた。

(他に同旨・同様回答 7件)

#### ⑦ 交際・結婚関係についての回答例

1. 自宅で、恋人、結婚相手から、肝炎だから子供ができない、お前はなるべくして肝炎になっていると言われた。
2. 別れ話で、元彼から、病気を持っていたら誰とも付き合えない、と言われた。
3. 交際中に、交際相手の姉妹から、交際中の相手が気をつけると注意されていた。
4. 通常の会話の中で、交際相手の父親から、「●●大の医学部の先生も、だいたい肝炎の患者は60歳位で死んでいる」とされた。
5. おつき合いしている彼にうちあけた時、彼から、「別れよう」、「面倒見れない」とされた。



## ⑧ 友人・知人関係についての回答例

1. 頻繁に、だれかれから、エイズみたいなもんやと言われる。
  2. 知人から、私のことを、シャブでもやっていたんじゃないの？と言われる。
  3. 親友の女友達が家に訪れた時に、肝炎ウイルス保持者だと言うと、慢性B型肝炎の私に対して、近寄らないで、うつるからと言われた。
  4. 会話の途中で、友人から、ガンより怖いC型肝炎と言われた。
  5. 結婚前に、主人の同僚から、よくC型肝炎の人と結婚できるな、おれは嫌だなと言われた。
  6. 友達に電話で、友達の女から、一緒に食事したらうつると言われた。
  7. 知り合いの人が、肝炎の人とは一緒に食事をしたり、温泉などに入らない方がいいと言ったと、他の人から聞いた。
  8. 同級会で、同級生から、こいつもうすぐ死ぬんだよと言われた。
  9. みんなで食事をする際に、周囲の人から、じかバシはやめてと言われた。
  10. 自宅付近で、知り合いの女性に、体を触れて大丈夫？と言われた。
  11. 普通の雑談中、知人から、うつさないでよと言われた。
  12. 飲み会の席で、知人から、B型肝炎なんだろうと言われた。情報が漏れている。
  13. 私がC型肝炎患者であると告白した時、近所の友人から、あなたとは、食事をしたり、お茶をのんだり、プールで一緒に泳いだりは出来ないと言われた。
  14. 登山グループの仲間から、ケガをした時不安だから、一緒に行かない方がいいと言われた。
  15. 茶道の仲間が、濃茶（一碗を数人で）口を茶碗につけるとうつると他の人から聞いているから気持ちがよくないと、茶道教室をやめていきました。私は現在も続けております。
  16. 長い入院生活のあと、病状（心身共に尋常でない倦怠感）を話した時に、友人から、肝臓病って昔から贅沢病とか我が儘病って言うわよね！と言われた。
  17. 知人の子供の頭をなでたら、B型肝炎だからさわらないで、と言われた。
  18. 病気の話（肝炎のこと）をしていた時、友人から、友人の知人が見舞に行った時に、りんごをむいてくれたけど食べる気がしなかったと、遠回しに言われた。
  19. 私は20年来の友人に、集団予防接種の被害で提訴中、国会議員への署名用紙に署名を頼んだ時、その友人に「娘の結婚にさしさわると言われ、私は1番の友人だと思いつても何もかも話していたけれど、結局は理解してもらえなかったと思った。
  20. 友人と食事の時、友人の妹から、気持ちが悪いと言われた。
  21. 友人から、C型肝炎はヤクザの人が多いいと言われた。
  22. 食事の席で、隣の席の人（友人の友人、初対面の人）に、病気のことを正直に話したら、C型肝炎をHIV（エイズ）と誤解された。
  23. 私自身のことで、あの人C型肝炎だよ！というようことを、同窓生に言いふらされた。
  24. 飲食中に友人から、あまり一緒に食事をしたくない、セックスで感染したの？と言われた。
  25. 食事会の席で、友人、知人から、同席していることで感染すると言われた。
  26. サークル仲間から、陰口や、性行為感染と言われた。
  27. 友人に自分がC型肝炎であること告げた時に、友人の対応の中で、妻に伝染していないのか？と聞かれた。
- （他に同旨・同様回答 14件）

## ⑨ 施設関係についての回答例

1. 施設に入所している為いろいろな催しがあり、会食の為に食事の準備をしている時に、他の方でC型の方に「感染するから手伝わなくて下さい」と面と向かって言われ退去しました。
2. 施設入所の際、介護担当者から、風呂は最後に入って下さいと言われた。
3. 施設内（風呂場）で、ヘルパーの人から、食器類を別にして下さいと言われた。
4. ●●（●●県）支部が開催した幼児安全法講習会で、講習会の●●指導員から、人工呼吸（口対口）でエイズや肝炎がうつる、エイズより肝炎が怖いという話があった。

## ⑩ 地域・近隣についての回答例

1. 隣近所の住民との会話で、高齢女性の方から、まだ若いのに夜の生活が可愛そうと言われた。
2. お隣の方との立ち話で、ご主人は感染してないんですか、また、自分にはうつりませんか？と言われた。

3. 引越して、大家から、病気の人には貸したくないと言われた。
4. 近所の人とお茶のみの時に、奥さんに、自分にも感染したのではないかと、病院に検査に行く、エイズ（血の病気）ですかと言われた。
5. 自営の店（イタリア料理店）で、病院で出合ってしまったお客からあからさまに、うつらないとはいえ気持ちが悪いからと、毎週来ていたが来なくなった。
6. 地域の会合の交流会での飲酒場面で、地域の有力者から、病気を理由に盃を断ると、俺の盃が受けられないのかとキレられた。

（他に同旨・同様回答 9件）

#### ⑩ その他

1. 様々な紙面（市の広報誌、いろいろな情報誌）で、C型肝炎がB型肝炎などと同じように感染しやすいとことが書かれている。
2. 署名をお願いした時に、自分のことを、税金で治療をするつもりかと言われた。
3. 紙で手の指を切って血が出た時に、ボランティアの上の人から、気を付けてもらわないと、…貴女はウイルスを持っているんだから…と言われた。

（他に同旨・同様回答 2件）

問1-8-3 あなたは、あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として、直接的あるいは間接的に、「発言以外に精神的に傷つけられた」ことがありますか。

問1-8-4 それは具体的に「1. どのような場面」で、「2. 誰の」、「3. どのような行為」でしたでしょうか。最も記憶に残っている出来事を以下に記入して下さい。

#### ① 就職関係についての回答例

1. 就職活動（個人病院のリハビリ補助員）で、院長から、採否を1か月待たされ、不採用になった。
2. 就職の面接で、担当者から、露骨な就職拒否をされた。

#### ② 職場関係についての回答例

1. 会社で、職位の低下、病状を説明し職場を異動させてもらったが、しばらくしてまた異動、元の仕事を指示するメールなどがあった。
2. 業務上、上司から、インターフェロンを注射して40度以上の熱が出ていても、休みを与えてもらえなかった。
3. 会社の昇進時、上長から、これ以上昇進できないと言われた。
4. 職場で、上司から、君は体が弱いので重要な仕事は任せられないと言われた。
5. C型肝炎と分かり入院治療を会社をお願いした時、会社の上司や同僚に、いかがわしい所へ行き性感染症でうつされたと言われ、社内にそのうわさが広まったこと。（+）昇進が見送りになった。
6. 現役の時に、上司から、いやがらせをされた。
7. 入院治療をするので休みたいと言った時、本部の上司が、もしも手を切って血が食品に混ざったら大変だから（調理補助の仕事をしていた）と言った。
8. 職場で、同僚から、偏見による悪口を言われた。
9. 業務分担を受ける際、上司から、その業務を肝炎がある事で続けられるか疑われた（結果的に担当をはずれた）。
10. 治療中に職場の健康診断があり、（白血球、赤血球血小板）データが悪くなり、主治医に証明ももらい提出したにもかかわらず、上司から、それを理由に解雇という事になった。自分でも説明をしたが、会社専属の医師もそのように言っているという事を言われた。私の主治医は専門医です。
11. 慢性肝炎の時入院した後、復帰に迷っていた時、上司から、辞めるような方向へ進められた。
12. 会社の飲み会で、社長から、子供をつくらないのは夫婦で遊びたいからだろとか、非国民的発言が何度もあった。
13. 食料品会社勤務時代に工場内作業で、社長から、製造した食品に感染する旨の言葉を言われた。
14. 職場（老人ホーム）で、施設長から、日勤のみにして欲しい旨伝えるも、夜勤ははずせないと言われた。
15. 昼食時。休憩の時。職場のほとんどの人が（30人位います）、茶のみコップを必ず一番最後に洗ってくれる（しかも、いいかげんに）。

16. 仕事の事で、仕事上の関係者より、良い条件の仕事が止められたり、他にまわされたりした。
17. 職員室で1回だけ、同僚の1人に（但し、問題のあった同僚だった）、私の顔を見るなり両手を上げてバンザイの形で、あからさまにさわらないよう私を避ける行為があった。でも他の職員が、「エッ！」とブーイングしてくれて私をカバーしてくれて、ホットした。
18. 大衆の中で、同僚から、室内に蚊がいるが感染しないか？感染する恐れあるんじゃないのと言われた。
19. 職場で、自分が職場での健康診断を再三断った為に、何となく居づらくなり、辞めざるを得なくなった。  
（他に同旨・同様回答 13件）

### ③ 医療関係（歯科関係を除く）についての回答例

1. 胃カメラの検査で、医師から検査を拒否された。
2. 医療機関での診察時に、内科医に診察を拒否された。
3. 人間ドック受信時の上部内視鏡検査時に、担当医から、検査順位を当日最終にまわされた。
4. 会社の診療室で医者に相談しているとき、医者から、母親からの母子感染キャリアーであるが、「海外旅行で遊んだらう」というニュアンスの発言。
5. 病院でC型肝炎と診断された時に、先生から、昔、注射や刺青をしていなかったかの質問があった。
6. 耳鼻科へ鼻血の治療に行ったとき、医師から、大声で「手袋、手袋」と叫ばれ、この患者は感染症と（部屋の中に20名ぐらいいたが）伝えるような行為をした。病院についたときは、もう血は止まっていた。さも、汚いものをみるような目つきをした。
7. おでこのすり傷で顔に傷跡が残らないようにと、治療のため病院で受診したが、医者（外科）が、傷口は長かったのに、傷を縫わなかった。ただ、消毒とガーゼを載せるだけ。ビクビクしていた。
8. 白内障手術で、眼科の医師から、手術の申込みは早くにしたにもかかわらず、当日、順番は最後にされた。
9. クリニックで多くの人のいる所で、院長から、C型肝炎はイレズミとか麻薬とかの針のうち回しでうつると大きい声で言われた。薬の名前を聞いたところ、あなたに薬の名前は言う必要はないと言われた。
10. 切開後の3ミリ位の傷の手当。出血もない。通院治療の時、皮フ科医師が、「C型だから」と包帯をはずす時から、手袋をはめ、ピンセットのみの処置だった。
11. 地方の医師の場合、敬遠の態度もたびたびある。出来る事なら診療をしたくない、消極的会話になる。
12. 胃カメラ検査で、医者から、順番待ちをいちばん最後にされた（いちばん早く居たのに）。
13. 強ミノの注射のあと、止血の際、上手くいかず溢れた時に、お医者さんが、看護師にゴム手袋を着けるよう慌てて指示した。
14. 夕方（PM7：30頃）病気の急変で、主治医（●●病院）は遠いので、他の病院（●●の病院）で時間外診療を受けた（日曜日だったので）。月曜日の朝8時に、主人と共に●●病院で主治医の説明を求めた（月曜日は主治医の診療日（外来）だった）。主治医は不在といって出て来なかった（後日、電話で“ごめんなさい”と一言）。医長にAM8：00～PM16：30も外来の椅子で待たされ（体調が最悪にもかかわらず）、医長の●●医師がやっとな現われ、私のカルテをパラパラと見て、「僕は忙しい、君はどうせC型肝炎の肝硬変だから早々にガンを発症する。C型肝炎の患者は君だけでは無いから、我々医師は厭でも診なければいけないが、僕も多忙で人に会わなければならないから失礼する」と言われた。【経緯※前日PM6：00ころから吐血と下血があり急に喉が渇いて、水を飲んでも飲んで渇いて、体が普通でないで、近くの●●市立病院の時間外診療を受けた。PM9：00頃、血液検査、レントゲン等の結果、肝臓疾患及び重篤の糖尿病（血糖値820）と判明した。すぐ入院をと言われたが、10年以上も●●病院に通って、1度も医師から糖尿病という言葉聞いた覚えがないので、それを市立病院の医師に伝えたら、すぐ明日●●病院に行って主治医の説明を受けてから入院治療するよう言われて、●●病院に説明を受けるために出向きました。それ以来ずっと入院（市立病院）し、退院してからもインスリン注射を続けて治療しています。※その時の会話は録音に取ってあります（後々の事を考えてバックの中に忍ばせてスイッチを入れました）。】
15. 開業医で受診し、治療のため吸入器を使用した時、医師、看護師が、他の患者がたくさんいる前で、自分が使用した吸入器を、他の患者の消毒液容器とは異なる場所に入れるよう指示され、間違えると感情的に注意された。受診の度に、他の患者とは明らかに差別されているように見え、他の患者からも疑問視されることは耐え難い。キャリアーであることを申告した者だけが受ける偏見や差別をとっても疑問に思う。
16. 入院中の整形外科医院で、医師、看護師、事務員、理学療法士、他スタッフから個室に移され、一步も外に出られない状態になった（トイレ、風呂も別）。食器を全てハイターにつけられ、ハイターのニオイで食事がとれなかった。腰痛の治療を行う際に、医師が看護師に「注射針を捨てるように」と大きな声で指示をしていた。入院患者と病棟の廊下ですれちがう時、みな、私をさけて通るようになった。

17. 出産や治療で、医師、看護師から、隔離、食器は使い捨て、入浴なし等の対応をされた。
18. 病院で、私の採血の時、看護師がゴム手袋をはめて採血したため、痛い思いをした。
19. 51年、子供を出産した時に、看護師から、使用禁止の紙をはったトイレや洗面所を使うように言われた。食器も別にされた。シャワーも、私だけ、入院中6日後に一度だけでした。他の人はほとんど毎日使用していた。
20. 病院で鼻にネブライザーをかけるとき、看護師が、黄色の台紙に（キ）と赤いマジックペンで書いてあるカードを、使用している機械の上、私の目の前に置く。しばらくがまんしていましたが、C型肝炎だから危険という意味ですか、差別じゃないですか、と言ったらやめてくれました。
21. 注射（ミノファーゲン）をして頂いているクリニックが、休診（2週間位）だった時（先生が病気だった為）、総合病院に注射の為に向き、事情を話しお願いしたが、処置室に3~4人（女性）いた看護師は皆去り、まだ不慣れな若い男性看護師に3回失敗され、大変こわい（痛い）思いをした。
22. 病院で出産後、ナースが、1日目は感染者と気づいていなかった様子で、食事も普通の食器で出してもらえたが、2日目からは使い捨て、配下膳する人も重装備、トイレも、2日目からポータブルトイレを持って来られた。必要以上にバイキン扱いを受けたようで辛かった。トイレは和式を使わせてもらうよう交渉し、ポータブルは下げてもらった。
23. 病院で、看護師に、血液は自分でふくように言われた。
24. 大学病院の整形外科に入院中に、看護師から、ベットシート交換の際、あなたは感染症だから、普通の人とは別に交換すると言われた。
25. 病院で採血のとき、看護師が、目の前で大きなゴム手袋を着けた。
26. 子供を出産した時、看護婦、助産婦に、出産にともなう出血に、非常にあからさまにいやな顔をされた。
27. 肝炎以外の病気で他の病院に入院したとき、食事の配膳係に、肝炎で入院したときには経験しなかったのに、あからさまに使用後の食器を隔離された。
28. 病院の会計窓口で、請求担当者から、「肝炎の医療券」を使用する人は、色付きのカードを渡された。同病者間では、病気の名前がわかってしまい辛かった。
29. 眼科受付のアンケート用紙告知で、10人ぐらいの白衣の院内の方達が、コソコソ言いながら顔を見に来た。
30. 20年前、出産のあと、病院で個室になった。
31. 長男出産時（昭和58年）、病院で、他の患者・他の赤ちゃんと隔離された。
32. 第3子出産の時、病院で、説明もなく、ほかの子供と明らかに差別した。1人だけ違う浴槽、違う病院のうぶ着だった。
33. 第1子出産のため●●市の●●産婦人科（現在は無い）に入院中、個室にされ、（それは良いが）食器が、欠けたような半端なもので、裏にマジックで「HB」と書いてあって悲しかった。
34. 入院時（平成3、4年頃）、シーツ病衣の交換時に、4人部屋で、私の使用した衣類を区分された。
35. 20年程前、近所の開業医でした検便で少し出血があって、●●病院が●●の病院を指定し、そこで、朝行ったのに一番最後の3時過ぎの診察にされた。
36. 献血で感染が判明した為、●●関連施設に感染者が集められた時に、●●の関係者だと思うが、うす暗い部屋で、ヒソヒソと、性交渉と関連づけて説明された時、スティグマを感じました。
37. 病院の内視鏡受付で、受付職員から意図的に、他の検査を先に受けるように言われ順番を最後にされた。  
（他に同旨・同様回答 6件）

#### ④ 歯科関係についての回答例

1. 歯の治療で、医師の、差別的な言動があった。
2. 口腔外科受診時、担当以外の医師が素手でさわり、担当医師に言われて逃げるように消毒した。
3. 歯科医院へ治療に行った時、医師に、「治療する歯はありません」と言われ、拒否された（治療してほしい虫歯があって、行きました）。
4. 歯科受診時（抜歯後出血が止まらず再受診した）、歯科医が、歯科衛生士をどなりつけカルテを投げた（C型肝炎とカルテに記入されていないということ）。
5. 歯の治療による出血をきらうため、満足な治療は受けられない。歯科医、医師が感染を恐れる。患者への感染を恐れるため、出血を伴う治療がほぼ不可。
6. 歯科医院で、先生から看護師に、この人はC型肝炎だから、ビニール手袋をするようにと大きな指示の声があがった。
7. 歯科医院で、歯科医が、診療手順まで説明しながら、C型肝炎とわかったとたん、治療の必要なしと説明を受けた。
8. 歯科で、医師（開業医）から、治療をことわられました。
9. 歯医者の治療で、医師から、診察治療を後回しにされた。

10. 歯科の初診の時に、その曜日担当の歯科医師から、別の曜日に行ってくれと言われた。
  11. 大学歯科治療の時、担当の先生が職場をやめられるため、後の事は関係ないと思われたのか、歯ブラシの使い方のビデオばかり毎回みせられて治療してくれなかった。
  12. 歯科医院で、歯科医師が、初診アンケート用紙をつまんで持ち上げた。
  13. 歯科、特にインターフェロン治療中の虫歯治療で、若い医師は感染を恐れている。歯の治療に際して嫌な顔をしそう。あるいは、上手に拒否をする（遠回しに）。医師も人間だからと思うが、どんな患者が来るのかをいつも想定して、己を防護して治療するのが医師の常識だと思う。
  14. 歯科医院で、歯科医から、「器具を全部消毒しないといけないんで困るんですね」と言って、迷惑そうな顔をされた。
  15. 歯科、耳鼻科で、看護婦、医師から、私の家族（←キャリアーではない）と私が受診するとき、使用する器具には、全部、赤テープが貼られており、他の器具とは別にされていた。それはしかたないとも思ったが、次の人にもわかるように器具を扱われているのが見えているのはショックだった（耳鼻科）。まだ、診察室に私がいるのに、看護婦が、他の人にはやらないバケツに入った消毒液で、私の座っていた台とテーブルを医師の指示でふいているのが見えてショックだった（歯科）。が、他に感染させないためには、しかたがないのかと思った。
  16. 受付の人、歯科医から、歯科医院で応急手当はせず、治療は6ヶ月経ってからと言われ、6ヶ月を経て診察に行ったら、C型肝炎は治りましたかと聞かれ、（インターフェロン治療後でウイルスはもどっているが、肝機能は正常だったので）治ったと言ったら治療してくれた。
  17. 歯科医院で問診票に記入した後、看護婦・医師から、治療の際、不快な対応があった。
  18. 歯科医院で、看護師から、治療で特別扱いがあった。
  19. 自分が肝炎のキャリアーと分かってから、その歯医者で、知人を探して待合室の中を見ると、受付に「エイズ患者とB型肝炎患者は当医院にはおりません」という立て札が目飛び込んできた。愕然としました。歯医者の態度のなぜ？がこれだったのです。
  20. 歯の治療に行ったとき、病院側に少し待たされ、行ってみると、すべての物にサランラップ的なものがかぶせていた。
  21. 歯の診療時、大学病院だったので椅子が何脚もあり、その3ヶ所にCと大きく書かれた札がかけられていた。私もそこへ案内された。
  22. 歯科医院で、大変な重装備で先生と看護師さんに歯の検診をして頂きました。その折、看護師さんが治療中の手で何かにさわったと先生が大声で叱り、また、水滴が床に落ちたと大騒ぎをし、治療中に室におられた先生や看護師さん全員（4人位）が急に別室に移られてしまい、私としては何がなんだかわからず、帰りに、何かご迷惑をお掛けしたようでと申しましたら、こちらの問題ですからと言われましたが、私としてはとても悲しい思いをしました。C型と言わない方がよかったかなと思ってしまいました。5年前には何も知らずに普通の治療を受けていましたので。
- （他に同旨・同様回答 8件）

### ⑤保険加入関係についての回答例

1. 子どもの学資保険の加入で、日本郵政から、肝炎を理由に加入を拒否された。
2. 保険の契約のとき、外交員から、「既存症がある人に保険なんて必要無いでしょう」と言われた。
3. 生命保険加入時に…保険外務員に、保険加入は無理と言われた。
4. 新居の購入時、銀行から、団体信用生命保険に加入できず、融資を拒否された。
5. 生命保険加入時に、私本人について、肝炎の話をした時、顔色を変え用紙をひっこめた。

（他に同旨・同様回答 3件）

### ⑥ 家族・親族関係についての回答例

1. 家庭で、元亭主から、感染したらどうすると言われた。
2. 付き合っていた彼女と別れてから、親に、うつされるかもと言われた。
3. 体調があまり良くない状態の時、夫は肝炎に理解がなく、浮気によってうつされたものとし、私は離婚した。
4. 食事中、家族から、おかずの入っている器に割箸を供えられた。
5. 配偶者（夫）から、妻が肝炎なので感染したかもしれないから肝臓の検査をしてほしいと医者に言った（と聞かされた）。
6. 20年程前に、●●という雑誌に「C型肝炎はエイズと同様に、主として不特定多数の異性との性行為によって感染する」との記事が載った。私がC型肝炎であることを知った家内の親族の1人が、雑誌の記事のコピーを家内宛に送って来た。私は名誉を毀損されたと感じた。
7. 内緒にしていたのに知らせてしまった事で、慰謝料をもらっているのではないかと義理の兄弟姉妹から言われた。

8. 食事会（法事で親戚の集まっている場）で、伯母が、私に出された食事を、まだ手をつけていなかった状態で（早い段階で）、伯母にあげようとしたが、他の人に回し、手をつけなかった（その品は伯母が好きな物であったので、あげたのだが、いつもは倍量を食べるのに手をつけなかった。感染すると思われたらしい）。
9. C型入院治療&子宮内膜症の手術のとき病室で、舅がTEL、義妹に見舞には来ないでいいからな…とっていました。とにかく舅。自分が好意をもっている親族に対して、私の病名をベラベラしゃべっている。
10. 家族のいる自宅で、おかずは必ず「おとりばし」でとって、唾液がまざらないようにする（普通かも知れませんが）。（他に同旨・同様回答 10件）

### ⑦交際・結婚関係についての回答例

1. 交際相手（現在の妻）の両親に結婚の承諾をいただきに行った時、交際相手の父親から、病気を理由に結婚を反対された。
2. 男友達から恋人へ進展するかどうかの時、その男友達から、身内に障害者はいらぬと言われてた。
3. 私の男友達と話をしている時、彼に、うつるのではないかと性行為を拒否された。
4. 結婚を決める時、相手の家族から断われた。（他に同旨・同様回答 2件）

### ⑧友人・知人関係についての回答例

1. 食事をしている時に打ち明けたら、友人から、同じお皿の料理を分け合って食べられないと言われた。
2. ある集りで、食事を別の部屋に運ばれた。
3. 旅行先の旅館の酒席で、同行の友人が、旅館の女中に「この人はC型肝炎」であると教えていた。
4. 手習い中、私と友達の同じ毛のストールを並べたら、友達の孫が引きはなした。
5. 知り合いのお宅を家族で訪問した時、私を使用したコーヒーカップを別の所へ片付けた。
6. インターフェロン治療中、知人・友人が、何かはれものにさわるように、話しかけることを避ける。
7. 飲食中（友人と）、近くにいた女性客グループの会話で、C型肝炎の上司について、側にはいたくない!とか、聞くにたえない言動。自身も、同じ様に思われていると思うと滅入った。
8. 女学校時代のクラス会で、隣席に坐ったクラスメイト（医師の妻）が、両手をこちらにかざして、パッと避けるしぐさをした。
9. 同じ鍋ですき焼きを食べる時、友達から、汚れられた。（他に同旨・同様回答 9件）

### ⑨学校関係についての回答例

1. 子供が調理の授業を受ける際、指を怪我し肝炎患者と申告したところ、学校側から、この授業は受けられないかもしれないと言われた。

### ⑩施設関係についての回答例

1. ●●生協で、感染性の病気の家族がいることで、家事ヘルパーさんの派遣を断われそうになった。
2. 私の場合は障害のある息子がC型なので、作業所の入所の際、入所先の職員一同に拒否されました。
3. 心臓と肺の持病のため、要支援を受けるべく自宅にケア・マネージャーが来て、書類の作成時、紙に赤字でテーブルの私の目の前においた文字、それは「慢性肝炎」。ショックであった。
4. プールで、私の腕に注射針の跡が赤くはれて残っていたため、どうしたのかと聞いたので、C型肝炎の注射をしていると話したら、不安そうな顔をして、つぎの日から私の横には来なくなりました。それからは、誰にもC型肝炎の話はしませんでした。（他に同旨・同様回答 3件）

### ⑪地域・近隣関係についての回答例

1. 食事をした時、近所の方々からの、聞こえよがしの人にうつるというウワサ。

### ⑫その他

1. 私はゴルフ場のキャディーをしていたので、お客さんから、ゴルフのクラブをわたす時とか、かすり傷で血が出た時、うつるから離れろと言われてたりしました。

(他に同旨・同様回答 1件)

問1-12-1 あなたは肝炎治療のために病院に行く際に、どういったことに障害や負担を感じますか。障害や負担を感じない方は「なし」とご記入ください。

### ① 治療に関する偏見や差別関係

1. 30年間無症候性キャリアーで特に問題なく経過し、最近脂肪肝を指摘され、かかりつけ医院で年1回エコー検査を実施していくことになった。近くの個人医院で信頼できる先生なので、注意事項を守り、お任せしているので安心してます。20年ほど前に看護師として●●の透析施設に採用されたが、事前に伝えており了解のうえ採用になったのに、現場では意地の悪い主任看護師に徹底して差別され、患者に近づくのも難儀で結局退職勧告を受け辞めました。●●病院です。きたないものでも見るような扱いを受けた。その後、●●で老人病院に就職しました。私が勤務したせいで、患者やスタッフに肝炎の発症があったことは一度もありません。
2. 私自身が病院に勤務しているのですが、現在の上司と、入職時の先輩ら(殆ど退職)にしか病気のことを話しておらず、その後に入ってきた人たちは知りません。入職前から、自分の勤務先ではない病院に通っているの、平日に休む理由を聞かれても答えられません。また、幼い時に感染しているため、民間の保険に入れず、病気が進行して入院が必要になったとき、仕事はできず収入のない状態になるのが不安です。
3. 統合失調症を持っているので、どこの病院も治療してくれない事。交通の便の悪さ。
4. C型肝炎にかかったという理由で、医者同士でコソコソと話して特別?な治療器具で処置された(歯医者)。治療費が高い。
5. 通常では向かわなくていい通院を、3カ月に1度行くことに負担を感じる。また、肝炎だということで、治験を受けられなかった事が複数回あり、そのたびに「肝炎じゃなければ・・・」と感じる。
6. 病院で知人に会って種々聞かれ、またその事を不特定多数の人に言い広められる事。現実には、知人に会う可能性の低い隣の都市の病院に通院している。
7. 触れた物を直ぐに消毒すること。
8. 通院の為に仕事を休む。治療費の負担。何故か周囲に対して、キャリアーであることを隠そうとする精神状態に、大いに負担を感じる。
9. 自分が肝炎だということを伝えなければいけないこと。出血した際に、他の人が触る際、非常に気を使う。超音波検査をしなければいけない。何回も通院が必要で、拘束時間が長い。
10. 甥や姪など予防接種を行っていない子供に接するとき。手を切って血が出たり、遊んでいて私の口の中に手が入ったりすると、肝炎がうつるのでは?と不安になる。
11. 検査のための採血をするときに、もし事故が起きたら看護師さんに申し訳ないと思ひ緊張する。
12. 口腔外科を受診する際、部屋が別室となる為、待ち時間が長い。
13. 採血のとき、自分だけゴム手袋を着用されたとき。
14. 私は6ヶ月に1回●●病院に行き検査を受け、個別に問診を受けますが、室が他の問診の室とは違って、何だか隔離室である様です。
15. 医療費助成制度を知って保健所に相談したが、GOP、GPTが高く(2倍以上)ならないと出来ないと言われ・・・それは、あまりにもひどいと思う。肝炎になって苦しい人もいるし、死ぬのを待つんですかと言ってあげた。
16. 肝炎の助成券を使用する場合、色付きのカードを渡された(カウンターに、用紙を取るように書いてあった)。
17. 現在pegとリバの治療を受けているが、「毎週必ず治療に通わなければならない」という時間的拘束や、自宅に最も近い場所にある地元の病院のため、医療スタッフの中に知り合いがいること。守秘義務があることは知っているが、イヤでたまらない。
18. 外来など診察室での医師の声が大きく、外で待っている患者に聞こえること。外来で、病名を待合室で聞かれる。
19. 採血の時に大きな声で、別の看護師にB1、B1と言われて、その部屋の患者も含めて、みんなに伝えられる。先生の声が他の患者に聞こえたら、また差別される人数が増えて、ばい菌みたいに扱われる恐怖がいつもある。

(他に同旨・同様回答 48件)

### ② 精神的負担—治療・病状関係

1. 自分が肝炎だということを伝えなければいけない。出血したときに他の人が触る際、非常に気をつかう。超音波検査をしなければいけない。何回も通院が必要で拘束時間が長い。

2. 肝炎が進行していないか、不安を感じながら受診している。
3. 医療費のこと。いつまで通院しなければならないのか。入院したことはありませんが、発病して10数年になります。病状も一進一退で先が見えない。一生このままなのかな・・・。
4. Hbe ウイルスはマイナスだったので、何となく根拠もなく無症状のまま終わると思い、以前はあまり気にしていなかったが、ウイルス値が高い事がわかり、一年に何度も調べなくてはならない検査結果を聞き、ウイルス値が高いからまた来てと言われるたびに気持ちが落ち込む。造影剤MRIや血液検査も費用がけっこうかかる。
5. 2ヶ月おきに血液検査、半年ごとにエコー検査をするのが正直面倒に思える。医療費もかかるが、そんなに頻繁にしなくてはいけないのか？疑問を感じる事に心理的な負担を感じる。
6. 現時点ではウイルスそのものを排除する有効な薬が無いため、現状以上の悪化を防ぐことしかできない。そのため、病院休業日以外の毎日、注射を打っているが、「インターフェロン」以外の補助制度が明確には分からないので、通常の保険診療となっている。また、通院のため行動にも制約があり、ストレスがたまる。「注射と在来薬と安静」の日々をいつまで続けるのかという不安もある。そう遠くない病院だが、体調により行くこと自体が気力を必要とする。また、抵抗力の低下により、院外で待機する他の患者（インフルエンザなど）の人数を確認してから出向く。
7. 肝炎治療の注射のために通院していた時は、何か独特な雰囲気があって、とても嫌でした。現在は何の治療もしておらず、年に2回の採血と、年に1回のエコーだけです（現在、私はウイルスが検出されなくなりましたが、子供が母子感染で、キャリアとなっているため、とても心配です）。
8. 私はB型肝炎（e抗体+e抗体-）で感染力が強く、注射などの時に看護師さんに気を使います。以前、病院の先生に注射針をまちがって差して感染した看護師さんの話を聞いた事があります。
9. 健康診断を受けに行き、『治癒したと7年前に言われ、その後も1年に1度フォローアップを受けているのに』肝炎検査を受けると、必ずC型肝炎抗体検査で（+）が出て要精検になること。
10. 病院に行く回数が多い為、自宅から交通の便が良い病院を選んだが、定期検査の診断、治療方法、進歩、専門医並の対応（少なくとも）がなされているのか、また、学んでいるのか、不安が大いにある。
11. 血液検査の結果を聞くのが非常に不安、主治医の対応が不満（進歩しても70歳すぎというのは完全には治りません、とよく言われる）。
12. C肝である事を申告する時、初めての受診の折はきちんと向き合っの治療をして頂けるのか不安。他の病院（肝臓専門医）を受診する折は、かかりつけ医の紹介で必ず受診する事にしている。何故、この病気の為にこの様に気をつかわなくてはいけないのかと、いやになる時もあるが、自分の為であるので治療をすると、自分に言いかけせる行為が精神的に重い。

（他に同旨・同様回答 136件）

（以下副作用関係）

13. インターフェロン治療中は特にだるさがひどく、負担が重すぎた。インターフェロン後、現在体力が落ち、むくみ etc もあるので疲れやすく、少し負担である。人気のある医師のところは、どうしても待ち時間が長く、大変ではある。
14. 長い闘病の中で、いつ、また重症化するのか、また、ガンを宣告されるのかと思ってしまうこと。これから益々治療費が嵩むだろうと思うこと。※過去に急性増悪で重篤化し、4ヶ月半の入院生活を経て自宅療養生活を続けた経験があるので。
15. まるで不治の病のごとく、治療を続けなければならないことは、精神的負担を感じるとともに、残り少ない人生がまっ暗です。インターフェロンを6回も受けました。1~1.6年でやっと終ると、1カ月後には、検出せずだったウイルスが、1.4位になります。うつ病になり、橋本病、シェーグレンも発生し、つらく悲しい日々です。
16. 交通費、医料費、入院治療費、血止めに使われたフェブリノゲンが原因でC型肝炎～慢性肝炎～肝硬変、食道動脈瘤ができて、死ぬかと思う程苦しく、またできると言われて、暗い毎日と闘っています。血止めをしなかったら今の命はなかったかも知れないけど、その為に健康を害して命を縮め、子や妹達に迷惑をかけて、働けなかった上に（病気=C型）年金も少しいない毎日、次にくる病気（肝ガン）に脅えて、夜も眠れない日を送っています。あと何年生きられるのか、病気になるってもお金が無いなど絶望の日々です。
17. インターフェロン治療、ペグインターフェロン+リバビリン療法と2度治療したが完治せず、治る見込みがないのに治療費（エコー、血液検査、ウルソ…）の負担がかかり、いやになる。今度はプロチアーズ阻害剤を勧められるだろう。C型と判ってから17年、歳をとると、もうどうでもよくなる時がある。薬の副作用も心配（肝臓ガンになるのを待っているようでとてもいやです）。
18. 2ヶ月間入院して、インターフェロン治療をしていただき、あと2ヶ月間は近所の病院で注射を受けたのですが、注射のあとすぐに生薬をつめて帰るのですが、それから夕食の仕度をするのは、とても辛い日々でした。
19. 肝炎が進んでいるので、医師の対応が気になる。なんとか治してやろうという姿勢を感じない。医師に対しては腹立たしさを覚える。



20. 強ミノ注射をしている時、週3回通ったが、お腹が苦しくなりつらかった。親切な医院で、優先的に早くしてくれたが、待ち時間があると、身体を起こしているのがつらく、大変でした。
21. 検査結果で、今後の治療方針がどうなるのか？又、いつ再入院となるかが、最大の気がかりです。勿論、医療費の助成制度があっても、医療費はかかります。
22. 通院や入院の際の様々な検査、治療、診察は精神的にも肉体的にも厳しいものがあり、家族の負担も大きい。又、負担と同時に不安が大きく、人生設計ができない。

(他に同旨・同様回答 74件)

### ③ 経済的負担—治療費関係

1. 1年ほど前に貧血がひどくなってから、毎月受診ということになり、血液検査をして、定期的にエコーや胃カメラなどをしていますが、医療費の負担がかなりあります。核酸アナログ治療の助成を受けていますが、それでも子供の教育費もかかるし、国から受けている助成に対しても、結局は財政難である国の負担を増やし、子供たちがその負担を強いられることになるのがわかっているだけに、申し訳ない気分になります。
2. 核酸アナログ製剤の助成はあるものの微々たるものであり、医療費の大半はそれ以外の検査費用が占めている為、経済的な負担は拭い去れない。
3. インターフェロンの治療(48週)を終了してから、定期的(2~3ヶ月)に、血液検査、エコー・CTなど検査予約があり、検査費用が高額であるため、年金生活だけになったら、これがいつまで続くやらと思うと、すご〜く負担を感じ胸が詰まります。
4. 病院での治療施設や診療料などの地域格差があり、新しい治療を望むなら、大都市の病院で治療している人が多く見受けられます。年金生活者にとっては、新しい治療を受けるとしても高額治療費となり、二の足を踏むことになる。
5. 治療費の国庫補助につき、同じC型肝炎でありながら、感染ルートによりフィブリの補助だ、輸血の補助だと、はっきり(本当に)した人はいいが、ほとんどの人はルート不明が正しいと思いつながら、自分は正規の治療費を払い続けている。
6. 通院、治療のために費やす費用が家計に対し高額であるため、家族、とりわけ夫に対して負担感を感じる。発病が自分の不注意でなく輸血によるものではあるが、以来30数年、家事、育児に周囲の人に迷惑をかけて生活してきたことを思うと、精神的な負担感とはとても大きい。
7. 東京都、北海道、長野県などは難病に入っているのに、千葉県のはなつとくがいかない。治療費も、東京都はインターフェロンの高価な時も、ほとんど無料でした。
8. 最大に負担を感じる事は金銭面です。あとは、時間や労力など。病気が悪化する不安がかなりあります。あとは、治療や薬、副作用に対する不安、病院や医師に対する不安など。
9. 平均月に1回プラス検査は、10年以上20年近いので、金銭的にも、交通費にも、診察予定日に行くシンドサ、いくら頑張っても完治しない、ただ不安だけ。自分の責任でなった病気じゃない悔しさ。人に知られたくない努力。一杯あります。
10. H.20年からインターフェロン治療を受けていますが、当初週一回の注射も、ここ2年半は週に2回の注射助成金も出なくなり、毎月の治療費の負担が大きく、これから先がとても不安です。早く自分にあった薬剤が出来る事を願う毎日です。
11. 一生涯身体にウイルスがあり、その為、数ヶ月ごとに医療機関で検査を受け、診察してもらわなければならない精神的、経済的負担は相当なものです。私はアナログ剤を勧められていて腎臓に病気があり、飲んでいないのががんの心配もあります。私は県外の病院へ行くので交通費もかなりかかります。夫婦とも年金生活者ですから、病院へ行く月は赤字です。その他の病気や、眼科、歯科もあり、整形外科には行けない状況です。
12. B型肝炎で、遠方でも専門性の高い(=肝臓科のある)病院に通っていて、核酸アナログ製剤治療(ラミブジン+ヘプセラ)を受けている。(1)治療費が高額なこと(2)治療を止められないこと(3)耐性株の出現(4)(夫の仕事で頻繁に広域に転居するので)通院の交通費も高額になること。
13. 毎月~数ヶ月ごとの検査のたびに検査料を支払うのはつらい。完治のためなら仕方がないが、ただ調べるだけで、詳しい検査のため何本も血をとられ、高い支払いはつらい。
14. 通院時間、通院費用の確保、また、通院する時に小さい子供がいるため子供を預けたり、その保育料もかかり、本当に大変。
15. 治療費用がかかる。ガイドライン通りの治療を勧めるが、本人の希望も、もっと聞いてほしい。病状に大きな変化がないのに、通院することが負担だ。また、公立の大きな病院なので知り合いに会うことも多く、通院理由を聞かれるのがいやだ。専門医が診てくれるが、1時間待って、診療はほぼ5分でおわり。このごろ市内に肝炎相談センターができたが、行きづらい。

(他に同旨・同様回答 244件) (Web・他に同旨・同様回答 123件)

## ④ その他の負担ー通院関係・仕事等の関係・人間関係等

1. 病院は平日にしか開いていないので、どうしても学業を犠牲にしなければならない。また、来年度から就職するが、ペーペーの新入社員が通院のために仕事を休まなければならないので、とてもプレッシャーを感じる。通院のせいで、将来、職場で不利益を被るのではないかと不安である。毎回血液検査を行うので、静脈をいくらかは傷つけることになり、将来、HBV感染を原因とする膜性腎症に罹患し、最終的に腎不全となり透析になった場合に、シャントとして使える血管が確保できないのではないかと不安に思う。血液検査は毎回6本とられるので、普通の採血に比べて痛いのが少し負担に思う。インターフェロン治療の際は、万単位の支払いがあるので困る。
2. 別の疾患の血液検査で、肝臓疾患の疑いと思われる重篤な数値が現れ、緊急に内科で診察との主治医の連絡を受け、通院その他負担にならない近所の比較的施設の整った病院数件初診の申し込みをしたものの、ことごとく予約でいっぱいなどで緊急対応もなく、一時間、電車を乗り換え乗り換えて、現在の通院先の主治医の先生に診てもらいました。最重症のときは入院を勧められたものの、経済的な負担もあり通院を選択しましたが、検査診察では通院するのも身体的に大変でした。
3. 会社にはC型肝炎だと言っていないので、病院に行くたびに会社を休むのが負担です。
4. 2か月に1回の採血、半年に1回のエコーで仕事を抜けなければならないこと。毎日、ゼフィックスを飲まなければならないこと。そのゼフィックスの値段が結構高いこと。
5. 仕事を定期的に休んで病院へ行くこと。そのため、他の理由で休みづらいこと。検査だけでも時間がかかり、悪化しているときは体への負担が大きい。
6. 朝早く家を出て、病院が終ると、また、すぐ仕事を始めます。とても疲れます（レストラン自営）。生活のため、生きるための仕事です。
7. 治療期間が最低でも6ヶ月と長いこと。注射がいやになる。治療代。医療機関まで車で1時間半前後要するため、帰りは副作用のため妻に運転してもらうことが多かった。病院側には気をつけていただいているが、それでも日によっては、採血、診察だけで2時間以上かかることがあった。治療期間中は、どうしても妻に頼ることが多くなってしまふ。精神的にも不安定になりやすい。
8. 専門の病院が遠く、長時間待つので大変疲れる（夫婦でC肝）。肝炎の合併症の糖尿病の検査、インシュリンの費用の負担も重い。助成でインターフェロンをしても、かなりの経費がかかって、もう今後は、支払いができない様な気がする。1年間も長かった。疲れ切った。ウイルスはまだ存在するし。
9. 定期的に通院しているが、年を重ねるごとに通院が大変になっていくと感じる。肝臓専門医のいる病院だが、受付から帰るまで3時間かかり、自宅から病院は往復2時間かかる。

(他に同旨・同様回答 259件)

## ⑤ その他

1. 肝炎であるというのは近親者と数人の昔からの友人しか知らないもので、今親しい人（近所や子どもの親など）に知られたくないので、病院で誰かに見られてたりしたら嫌なので行きたくない。
2. 肝臓専門科なので、他の科と一緒に待合室からその場所に入ること、少々人の目を感じる。毎月の検診の費用。
3. 歯科医院に行く時は、感染症の有無を聞かれるので負担を感じる。全患者が感染症を持っていても、万全の治療をすることができる体制をとるべき。
4. 自営業の為、仕事の親会社に知られたくないので、病院へ行く事をかくしている。相手に気づかれずに病院へ行くのが大変
5. 感染する病気なので、相手がどう思っているかなど気になる。告知する時・記入する時など、負担をすごく感じる。
6. 知人に会って病名を聞かれること。肝炎だと言って偏見や差別を受けたわけではないが、素直に病名が言えない（人に感染させる病気なので言うことに抵抗がある）。
7. 何かのせいでうつされたので、それさえなければ、こんな思いをしなくてもよかったのと思う。

(他に同旨・同様回答 115件)

問1-12-2 あなたは肝炎以外の病気・怪我で病院に行く際に、どういったことに障害や負担を感じますか。障害や負担を感じない方は「なし」とご記入ください。

## ① 問診票の記載等告知等に関するもの

## (①-1) 告知に積極・抵抗感はないとするもの

1. 歯科にかかる時は、C型肝炎のことを申告する。治療のいすが決まっているようだった。歯科医院を変えてまたいちいち説明するのがなんとなくいやなので、ずっと同じ歯科にかかっている。
2. 原則として、C型肝炎に罹患しINF治療で完治したことを、事前に説明することにしている。中には肝炎を正しく理解しているのだろうかと感じるような医師もいるので、完治しているのだから事前説明を止めようかと考えている。
3. 最初に予診のための書き込みをするときに肝炎を正直に書くが、診療する側の態度が変わるのではないかと気になる。
4. 必ずキャリアーであることを告げるように注意をするし、かつて歯科治療で、個人歯科医院で治療を断られた経験がある。今でも、歯科医院では拒否するところがあるのではないかと思う。
5. 他の病気で他の病院で診察してもらうときは、C型肝炎であることを言っていますが負担は感じません。
6. 肝炎だったことを告知するが、相手が正しい知識を持っているのかと、少々心配になったりします。
7. 例えば歯科治療の際、出血による感染の危険を他の人に与えてしまうので、事前に病院にC型肝炎患者であることを言っただけで承諾を得てから行っているが、精神的にとっても負担である。悪い事をしている訳でもないのに、治療を引き受けてもらったことに、礼やら詫びをつい言ってしまう。
8. C型肝炎であることを告げる時。怪我、歯医者で出血している時は、治療にあたっている相手のことを思って、C型肝炎であることを話す。
9. 必ずC型肝炎である旨伝えるが、負担に感じたことはない。
10. 血液の扱いに注意してもらうために、B型肝炎ウィルスキャリアーであることを告知する。
11. ウイルス菌を持っていることを、DTや看護師の方々にまず告白して治療を受ける時、心身に負担、申し訳なさを感じます。(他に同旨・同様回答 5件)

## (①-2) 告知に消極・抵抗感あり、負担を感じるとするもの

1. 問診票にC肝ということを書き入れなければならないことにより、相手(看護婦その他)にそれが知れて、嫌な気分になってしまうのではないかと不安。
2. 初診の時、問診票にB型肝炎と記入すると、態度が変わる看護師がいた。
3. 先生や看護師さんに、うつさないように告げるとき負担です。
4. 年に3回ほど血液検査していますが、今のところ無いです。障がいはありません。今、行っている医院の検査項目に肝炎ウイルスの項目を入れてくれた為、B型抗体を持っている事が判ったので、先生に感謝しています。普通の病院でも、こちらから言わなければ項目に入れてくれませんよ。
5. 怪我の場合、流れた血に触られないように説明しなければならないとき。
6. 治療を拒否されたり、嫌な顔をされる。
7. 出血などの治療は報告をしないといけないので行きづらい。
8. 初診で既往症などを尋ねられたとき、キャリアーであることを明かすこと(診療拒否をされないかどうかということ)。余計な手間をとらせてしまうのではないかと、平等に診療してくれないのではないかと、といった不安。
9. 問診票に記入しなければならないこと。でも、問診票がない場合は、申告しなくていいのか不安になる。
10. 歯科にかかる時、HBV陽性であることを告げると、診療プランが変化するのではないかと不安。
11. 歯の治療等の時に申告をして、医者や看護師にうつさないようにする必要がある。
12. 肝炎であることを本来は告知する必要があるが、それによって不愉快な思いをするのであれば、黙っていても良いのではないかと、ということとの葛藤に苦しむ。
13. 問診票に、血液の既往症(エイズ・B型肝炎ウイルスなど)がありますか?という質問に答えるときに、エイズと同列にされていると感じた時は負担を感じた。
14. 肝炎であることを告げずに治療して頂いているので、肝炎であるか否かを聞かれたら、答えるかどうしようかと思う。
15. 風邪等で近くの開業医に行くときは、自分のことをよく知ってくれている先生なので良いが、歯科、眼科等、肝炎の事にあまりくわしくないであろう(予想される)医者には、現状を言いたくないし、言わない。
16. B型ということ言えば、差別や偏見を持たれるので言いたくはないが、すべての病院(喘息や内科他、歯科など)で説明をしなくてはならない屈辱感。
17. 全ての医療機関に、肝炎のキャリアーであることを申告しなければいけないのかという疑問と、精神的な負担。申告したことにより、医療機関側の差別がある現状と、個人情報、プライバシーが守られないことへの精神的不安(負担)。
18. 歯科、耳鼻科等で、肝炎にかかっていることを告知するのはつらい。偏見をもたれるのではと思ってしまう。

19. 医師に肝炎の症状を説明しなければならぬこと。肝炎の知識が乏しい内科医も多く、よくわからないと言われた（ウイルスの型について）。また、今は、薬をのめばよくなるらしいと言われた。キャリアだとわかっている看護婦なのに、採血などで、テーブルに血がついたときに、かわいた脱し綿でふいて終わりだったり、注射針からたれ落ちた血をふかなかったり、ふき方がそまつな時がとても多い。
20. 以前に医療機関関係者から、「来ないで欲しい」とか、「器具を使えなくなる」と言われているので、新規の医療機関に行くと、肝炎であることを言うのはものすごい不安を感じる。肝炎に関する知識が乏しい関係者が多いのにも不安を感じる。
21. 歯医者では、いつも問診票に肝炎患者であるかという記入欄があり、どうしても「いいえ」と答えられなくて、歯槽膿漏なんかちゃんと見てくれず、2回で終わってしまった。
22. 肝臓に負担をかけない薬を出してもらおうと、初めての病院で、B型肝炎で肝がん既往歴があり、核酸アナログ製剤を飲んでいることまで言いたくないのに話さないといけない。がんを発症したことがあると言うと、たいい医師は驚かれるし、その反応を見るのがとても嫌。
23. 自分の感じている症状を適確に医師に説明することに不安、負担を感じる。今後の治療方法、見通しや費用についても、同様に不安、負担を感じる。
24. 大病院ではHVCであることを言うが、小さな医院では言わない。言えば、次回から診察を断られる。
25. 歯科医院で肝炎ということを書かなくても良いようにしてほしい。ほんとうに消毒がきちっとしてあれば、告げる必要はないのではないか？（クスリの副作用などがあるときは告げることも必要だと思うが）また、自分が感染していることすら気づかない方も多いので、医療の器具・針など消毒を徹底的に行ってほしい。
26. 可能な限りかかりつけの病院に行くよう努力していますが、風邪等で近所の初めての病院等にすぐにかかりたい時など、正直に病歴を話した場合の対応に不安を感じ、なかなか決心がつかないことが多いです。
27. 歯医者などでは肝炎というとむずかしいという話を聞いたので、歯医者には行きたくても行かない。
28. 出血の恐れがある歯科医院などに行く時に、B型肝炎の治療中である旨を伝えなければいけないこと。拒否されるのではないかと考えてしまう。
29. 肝炎であることを告知するかどうか、いつもなやみます。告知するとあきらかに治療レベルが下がるので（必要以上の治療をしてくれない、治療によっては断られることもある）、体調が悪くて困っている時には、負い目を感じながらも告知できません。
30. 例えば歯科に行く時など、血液に触れるかもしれない治療がある時はもちろんのこと、薬の処方が必要な病気（風邪など）の時に、C肝の治療中であることを伝えなければならぬこと（自分の病気がますます他人に知られる機会が増える）。
31. C肝である事を告げ、出血した治療の折等、治療に当る医師・看護師さんへ気をつける様に話さなくてはいけない事に負担を感じます。
32. 「C型感染者」と打ち明けなければいけない事に負担を感じます。打ち明けた後、どんな反応がかえってくるだろうか、また、周りの一般の方に聞かれないだろうか…と負担を感じます。もし、知人がいて、バレたらどうしようかとも思います。
33. あきらかに告知しないと駄目な時は、記載する気の重さ。一度医師から差別的なことを言われてからは、言わない・記載しない判断は、申し訳ないけど自分でしている。告知すると診療で差別されそうで。

（他に同旨・同様回答 213件）

## ② 入院・治療での取扱いの違いに関するもの

1. 歯科に行った時、診療してもらった時間を午前の最後にさせられ、肝臓医の診断書の提示を求められた。
2. 病歴に肝炎があると、他の病気や怪我の診察を十分してくれないことがあった。
3. 出産後の入院のとき、トイレ、風呂のたびに消毒しなければならなかったことが面倒だった。
4. 別途、消毒が必要だと言われる。
5. 指を怪我して治療に行った時、C型肝炎と言ったら、看護師も医者もゴム手袋を点検したり、急によそよそしくなった。
6. 感染者として別扱いをされる時。
7. 「肝炎」と、カルテに赤で大きく書かれていた時。
8. 歯科治療の際、肝炎のことを伝えると、器材にサランラップのようなものをかぶせたイスに座らせられる。他の歯科では、4脚の内、いちばん端の席が定番で、そこもカバーが全体に覆われている。仕方ないのですが、歯科に行くのに抵抗がある。
9. 妊娠中に入院した時、ナースセンターにある部屋で、患者名の名札の所に、肝炎患者の暗号のようなシールが貼られていたのに気付いた。他の患者も出入りしていたので、それを見て、私が肝炎キャリアだと気付いた人もいるのでは…と心配になった。
10. 以前入院し手術をする際、いちばん最後にされたが、その際の説明が、病原菌扱いみたいに説明されて以来、肝炎の説明